

# なのみ通信



東小田小学校 学校通信

平成28年5月16日

NO 7

文責 校長 宮崎春美

## ☆みんな頑張っています！

連休明け、こどもたちは疲れているのかと思っていたら、とんでもない！すぐに、パワー全開で学習に取り組んでいます。先日は、1年生が、生活科の学習で「学校探検」をしていました。校長室にお行儀良く入ってきて「こんにちは」とご挨拶。校長室をぐるっと見渡して、「これ何？」「なのみの木に生えていたサルノコシカケだよ。」「この鍵(なのみの KEY)は、誰が作ったと？」「どこの部屋の鍵ですか？」と可愛い質問をしてくれました。「校長先生は、大楠先生と仲よしでしょう？」「どうしてそう思ったの？」「どっちもおばちゃんだから。」これには、私も大楠先生も爆笑でした(^o^)

5年生。家庭科で「お湯を沸かしてお茶を飲む」という学習をしていました。みんなの顔には少しの緊張感とわくわく感が見えました。まず、火をつけるときは、必ず換気扇を回さなければならないことを学びます。そして、ひとりずつガス台で火をつける練習です。初めてのこどもたちが多いのか、みんなおっかなびっくり。腰が引けています。火が付いたとたんに手を離すので火が消えてしまいます。「校長先生、火がつきません。」「手をすぐに離すからだよ。火が付いたら1,2で手を離す。」「あっ、つきました。」笑顔。まだ始まったばかりの家庭科学習ですが、6年生を終える頃には簡単な一食分の献立が作れるくらいの技能は身につけます。現段階では、この学習で安全にお湯を沸かせるようになっているはずです。ぜひ一度、お茶を入れてもらってください。



そして、6年生。少人数教室と6年生教室に分かれて「文字と式」の学習をしていました。X やYなどの文字を使った式に数を当てはめるという中学校の数学に直結した学習内容でした。背筋を伸ばし、しっかりと話を聞いている姿から、学習に集中していることがびしびし伝わってきました。また、富安先生の発問に対してほとんどのこどもたちが手を挙げているのにもびっくり！いい緊張感がある素晴らしい授業態度でした。

今回お伝えできなかった学年については、また後日書かせていただきます。

## ☆こんな親子のコミュニケーションからはじめてみませんか？

私が子どもだった頃は、朝食も夕食も家族全員がそろって食べ、食後は、みんなで一緒にテレビを見たりおしゃべりをしたり、そんな家族の団らんがどこの家庭でも見られる時代でした。(50年くらいも前のこと！)でも、現在は、こどもたちも大人も忙しく、親子のコミュニケーションの時間を確保するのも大変な時代になりましたね。でも、だからこそ、親子の時間を大切にしたいなあと思います。短い時間でも良いのです。「コミュニケーションをとらなければ」などと難しく考え過ぎず、出来ることから(\*^o^\*)

♡毎日、ぎゅーっと抱きしめる

♡お風呂の中で話を聞く

♡宿題を一緒にやってみる

♡寝る前に一緒に本を読む

♡叱る前に一呼吸おく

♡笑顔で子どもに接し笑い合う

♡何を言いたいのかなあ？と待つ などなど。

